

らくのへ 議会だより

令和6年
5月3日発行

No.120



六戸町議会
ホームページ
QRコード

春らんまん

四季折々にさまざまな表情を見せる館野公園。
桜が春を感じさせています。
今号から全4回シリーズで館野公園の四季をお届けします。

【令和6年度予算】

一般会計過去最高135億円・・・2

【予算特別委員会】

新年度予算を聞く・・・4

【一般質問】

町長の所信表明について
自治体アプリなど・・・6

一般会計 過去最高135億円

当初予算、前年度より

71・6%の大幅増

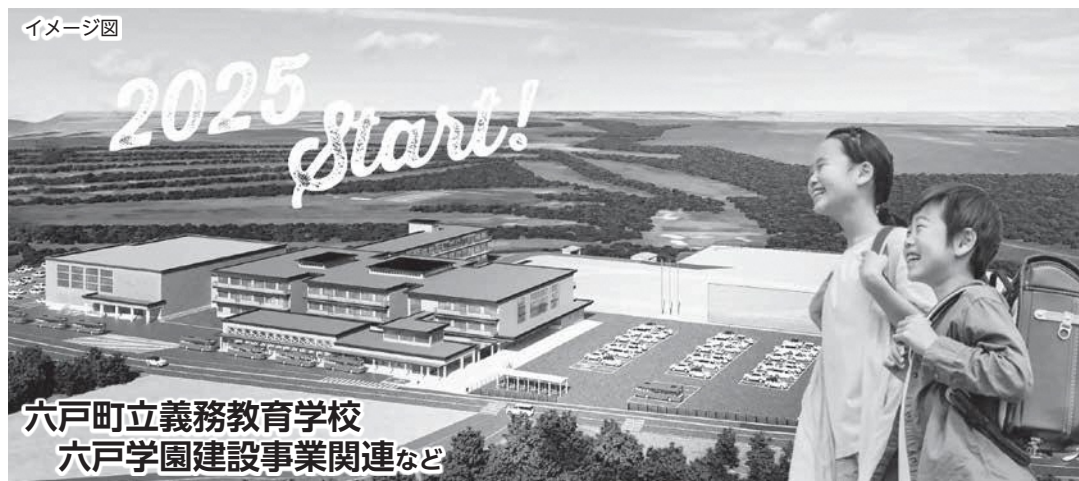
令和6年度の当初予算の新規事業は、六戸町立義務教育学校六戸学園の建設、創業支援事業などです。

令和6年度一般会計と特別会計、企業会計の総額は、178億6046万円です。うち、一般会計は135億2100万円。教育費に関しては、前年度比で59億3776万円の増となります。主な要因は、六戸町立義務教育学校六戸学園の令和7年度開校に向けた建設事業費が大幅に増えるためです。

その他、注目事業

- ▶ 新生児聴覚スクリーニング検査償還払
- ▶ 産婦に対する健診2回分の費用の補助
- ▶ 下水道内水ハザードマップ作成事業
- ▶ 米沢地区防火水槽設計業務
- ▶ 2026年青森県開催の国民スポーツ大会経費

イメージ図



六戸町立義務教育学校
六戸学園建設事業関連など

有害鳥獣駆除対策事業経費
17万円



年々増えている熊、鹿、イノシシ対策に(イメージ写真)

食育推進事業
203万円



令和5年度ちびっこベジタランドでの様子

まちの声

野生動物対策を



石田行雄さん
(猟友会
上町)

最近では、身近な所でも大小の野生動物の被害が報じられるようになりました。

町でも年間を通して、町民の方々に注意喚起をしてはと思います。

まちの声

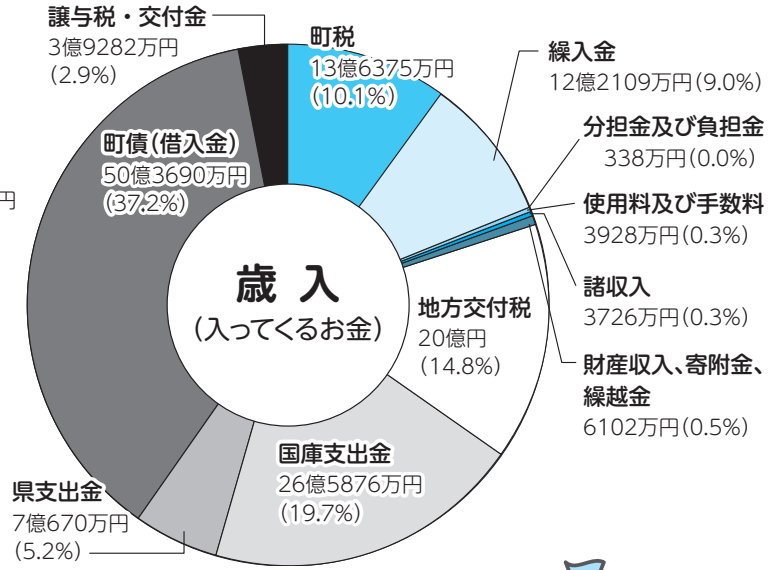
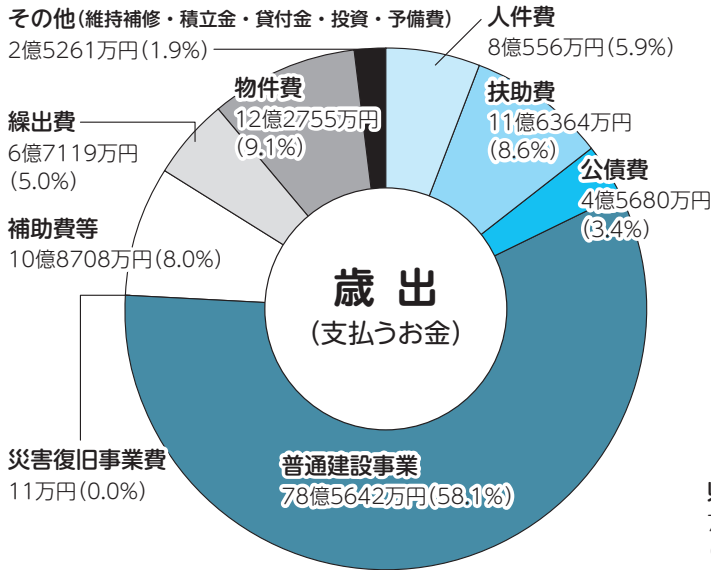
六戸学園 楽しみです



山内明花梨さん
(六戸小5年
見越ヶ丘)

わたしは六戸学園になったら、今までいっしょだった六小のみんなともずっと友だちでいたいし、開知小や大曲小のみんなとも友だちになりたいです。六戸学園に入るのが今から楽しみです。

一般会計 135億2100円の内訳



【地方交付税】
町の財政力に応じて国から交付されるお金

【国庫・県支出金】
町が行う事業に対して国・県から交付されるお金

【町債】
事業の財源に充てるため国などから借りるお金

【人件費】
職員の給与

【扶助費】
児童手当や医療費助成など

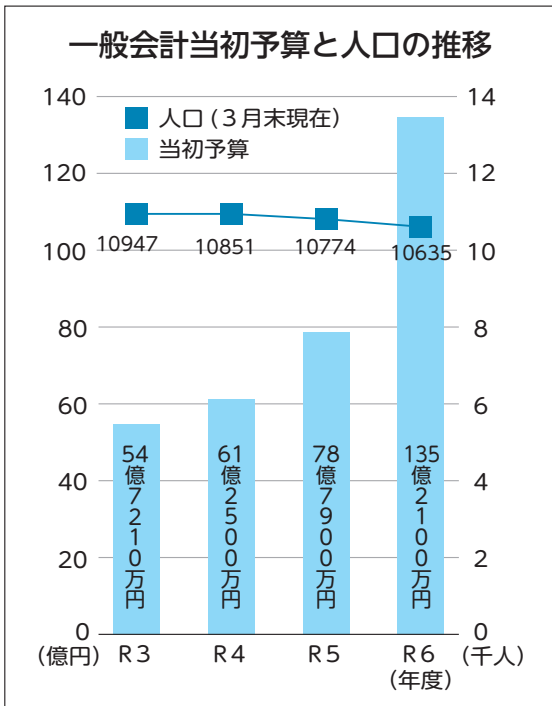
【公債費】
事業を行うときに借りたお金の返済金

【普通建設事業費】
道路や学校などの建設費

【補助費】
補助金や交付金など

【物件費】
旅費や消耗品費など

財政用語の解説



令和6年度 各会計の当初予算額			
会計名	当初予算額	前年度対比	
一般会計	135億2100万円	56億4200万円	71.6%
特別会計	国民健康保険	12億8508万円	1762万円 1.39%
	公共下水道		△5億2634万円 皆減
	農業集落排水		△1億3974万円 皆減
	介護保険	14億4590万円	1084万円 0.75%
	後期高齢者医療	1億6729万円	2259万円 15.61%
	国民健康保険診療所	3億7089万円	△2047万円 △5.23%
企業会計	下水道事業	10億7029万円	10億7029万円 皆増
合計	178億6046万円	60億7678万円	51.56%

※企業会計の標記額は、収益的支出と資本的支出の合計額。金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されていて、どなたでも傍聴できます。町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？

次回は6月に開催されます。

☎ 議会事務局 ☎ 55-4547



新年度 予算を 見聞



3月定例会の一般会計、特別会計、企業会計の予算を審査する予算特別委員会（長根一男委員長）が、3月5日、6日に開かれ、審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑を要約してお知らせいたします。

税制改正

問 盛田嘉彦委員
令和6年度の主な税制改正は

答 税務課長
改正の内容は多岐にわたりますが、主に所得税や個人住民税の定額減税、給与等の支給額が増加した場合の税額控除制度（賃上げ促進税制）があげられます。

たばこ税

問 苫米地繁雄委員
たばこ税が昨年よりも約524万円増えている要因は

答 税務課長
全国的な傾向ですが、加熱式のたばこやリトルシガーと呼ばれるたばこ等が増えている結果、税収が増えています。

教育費の返還

問 下田敏美委員
町債の教育費48億4650万円の返還年数と、返還見込み額は。また交付税の見込みは

答 企画財政課長
22年償還を考慮しており、そのうち3年間は据置となります。毎年の返還は、想定では、据置期間も合わせ、令和10年度に元金のピークを迎え、元金の合計で、4億2千万円ほどの償還になります。

総額で59億1800万ほど借入の予定です。そのうち交付税の算入は36億5千万円と見込んでいます。

問 下田敏美委員
今後、町の事業に影響はないか

企画財政課長

答 企画財政課長
5年ごとの財政シミュレーションでいくと、今までに比べれば、厳しい結果にはなりません。ただし、健全化判断比率、実質公債比率、将来負担比率については、基準値内に収まっています。

そのため、現在の行政サービスのレベルを下げることなく事業を実施することは可能だと考えています。

新規事業の上乗せは厳しいと予想していますが、既存事業の見直しを行うための実施は可能だと思います。

医療的ケア児

問 高坂茂委員
新規事業の医療的ケア児等コーディネーター業務、医療的ケア児

通学等訪問看護支援業務の内容は

答 福祉課長
医療的ケア児とその家族が適切な支援を受けられるよう関係機関と連携し、支援を総合的に調整するためのコーディネーターを委託します。

また、医療的ケア児通学等訪問看護支援業務では、医療的ケア児とその家族の意思を尊重し、通学における移送の際の看護師の付添いについて支援します。

医療的ケア児

人工呼吸器や胃ろう等、医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

寄附金

問 高坂茂委員
寄附金が昨年度に比べ、倍近くの約3500万円となった要因は

答 まちづくり推進課長
青森屋さんの宿泊助成券を返礼とした、ふるさと納税が増えているためです。

ごみの不法投棄

問 盛田嘉彦委員
ごみ不法投棄等監視業務の監視する時期は

答 町民課長
監視業務の委託時期は4月から11月の木曜と金曜日です。町内で不法投棄を発見した場合は、町民課まで連絡を頂ければ対応します。

老人福祉センター

問 苫米地繁雄委員
老人福祉センターの工事が毎年行われているが、本体の状況は

答 福祉課長
長寿命化計画の中で工事を実施しています。法定点検も3年に1回行い、指摘事項はありません。

食育推進事業

問 高坂茂委員
食育推進事業業務とは

答 福祉課長
生活習慣病予防、自殺対策、健康寿命の延伸等に関し、食が健康な心と体づくりに重要であることへの理解を広めるため、初年度は子育て世代に向けて、食育教室やレシピ開発、SNSを活用した情報発信を行います。

子育て支援

問 苫米地繁雄委員
子育て支援対策として、保育料無償化を検討している

答 町長
アイデアとして参考にさせていただきたいと思っています。

畜産振興

問 川村重光委員
町畜産振興協議会81万の補助先は

答 農政課長
六戸町畜産振興会から、牧野畜産協同組合と、産馬育成振興会、黒毛和種改良組合、六戸牛まつり実行委員会、六戸町シヤモロック生産組合の5つの団体に補助しております。

当町の産馬育成振興会には馬がないが、補助を行うのか

答 農政課長
産馬育成振興会では牧草を耕作し、畜産農家に対して販売提供しています。

まちづくり推進課長

答 町内で新たに食料品製造業や医療品、飲料品の小売業など生活に密着した業種で創業する場合、六戸町商工会や融資を受ける金融機関、県の創業支援機関と連携しながら、事業所等の開設に要する経費を対象に補助率2分の1、上限100万円と広告宣伝に要する経費を対象に補助率2分の1、上限30万円を補助します。

道路支障木の伐採

問 久田伸一委員
交通の支障となる木の伐採等の相談先は

答 建設下水道課長
要望等相談があれば随時現場を確認し、建設下水道課で対応を検討します。

計が統合し、企業会計となった理由

答 建設下水道課長
地方公営企業法を適用した会計へ移行することが、国の交付金の交付要件となることなどが主な理由です。

介護保険料の保険料が下がった理由

答 福祉課長
これまで積み上げていた、介護保険財政調整基金の約5割を取り崩し活用したためです。

いきいき百歳教室

問 山本実委員
予防事業活動車購入事業とは

答 福祉課長
地域介護予防事業「いきいき百歳教室」の地区拡大を図るため活動車を購入し、送迎を行い、年間を通し参加しやすい体制を整えます。



子育てしやすい町に

創業支援事業

問 盛田嘉彦委員
創業支援事業補助金の内容は

名称の変更については今後検討していきます。

下水道事業

問 高坂茂委員
下水道事業特別会計と農業集落排水特別会計

この事業が始まった当初は、お風呂に入り、体操、食事をする事業を行っていましたが、参加者にアンケートを行った

遊遊クラブ

問 杉山茂夫委員
湯遊クラブの名称が、遊遊クラブと変更となった理由は

この事業が始まった当初は、お風呂に入り、体操、食事をする事業を行っていましたが、参加者にアンケートを行った



いきいき百歳体操の様子



こうさか しげる 議員
高坂 茂

町長就任一期目の所信表明は

町民からの意見を集約し政策展開 — 町長

問

町長の考える4つの柱、健康であることを大切に育てる六戸、次代の子供を育てる六戸、稼ぐ地域を育てる六戸、安心に暮らし、ひとが集う六戸の意図は

町長

一つは診療所の内容の整備と強化を、次に六戸学園は、1年後には開校という状況のため、その内容の充実を、三つ目は開業、創業できる方々への、町として支援を、最後は健康であり、子供が育ち、そして稼げる地域であるということが、安心に暮らして人が集い、町の発展に繋がっていくと思っています。

問

選挙スローガンの「共に創り、共に育もう」とは

町長

私は、この六戸町を町民の皆様が描く、未来明るく素晴らしい町として築いていくためには、自分ひとりの力では力不足と思います。これから町長という務めを果たす上で、町をさらに盛り上げ、より良くしていきたいと思う方々と共に熱意を持ち、積極的に町政に取り組んでいく覚悟です。

問

「オール六戸」で「共に」町を創っていききたいという考えとは

町長

町内各地域に向向き、町民の皆様から声を聞く「町民対話集会」を開催し、町政の運営に活かしていきたいと考えています。

六戸学園の開校準備は

令和7年4月開校へ向け順調 — 教育長

問

令和7年4月開校のタイムスケジュールは順調か

教育長

現在、登下校に必要なスクールバスや町民バスのダイヤ編成、義務教育学校の教育活動を行うために必要な、六戸学園教育計画の作成等に着手しています。また、建築工事も順調に進んでいます。決定事項や進捗状況は、

問

随時、町の広報及びホームページ、保護者、地域住民等への説明会でお知らせし、理解を頂いています。

問

六戸学園の対外的なアピールポイントは

教育長

義務教育学校という新しい制度で、六戸学園は、ファースト・ステージからサード・ステージまで、三つのステージで構成され、5・6・7学年をセカンド・ステージに位置づけ、現在の小学校から中学校へ滑らかに教育活動を展開することで、これまで課題となっていた、中1ギャップの解消が期待できると考えています。

問

六戸学園の校訓「みる、しる、とぶ」の意味は

教育長

はじめの「みる」は、児童生徒の主體的な学びを考えたときに、物事に対し、いろいろな角度から見たり、不思議に思ったり、疑問を持ったりすることの大切さをイメージしています。「しる」については、興味・関心を持つた不思議や疑問を解決するために、調べたり、真理を探究・追求していくことの大切さをイメージしています。最後の「とぶ」は、「みる、しる」をもとに、さらに発展させ、自らの夢や希望の実現に向け飛躍することの大切さをイメージしています。さらに、平仮名表記の校訓は、とても珍しく、県内初の義務教育学校となる新しい学校にふさわしいのではないかと考えています。



建設中の六戸学園
(令和6年4月22日撮影)



たねいち まさたか
種市 正孝 議員

自治体アプリの利用状況は

登録者数が少ない状況 — 町長

問 町民にとって利便性が高いと思われる情報配信アプリの「ろくのへ防災・行政ナビ」、「六戸町ごみ収集アプリ」の利用者数状況は

町長 ろくのへ防災・行政ナビの利用者数は、令和6年2月現在、タブレット型の戸別受信機の貸出し数は201台。スマートフォン向けアプリの利用者数は1680人、合計で1881名の利用者数となっています。六戸町ごみ収集アプリのダウンロード件数は、令和6年1月31日現在で447件となっています。少しずつ利用者が増えてはいますが、登録者数がまだ少ない状況です。

問 利用者数拡大に向けてスマホ教室を開催しています

町長 まずは、分かりやすいアプリの導入の仕方、使い方などの説明を検討し、広報やホームページでのPRや、転入者などへのチラシの配布を継続し、利用者を増加させたいと思います。



古いスマホのカメラアプリでは読み取れない場合も

部活動の地域移行は

学園開校時に一部地域移行を — 教育長

問 部活動の地域移行に向けた取り組み状況は

教育長 六戸学園開校時に、部活動の一部地域移行ができるような体制づくりを検討しています。具体的には、子供を対象

に活動種目などのアンケートを行い、指導者の確保や保護者等の協力が得られる種目や活動から、段階的に地域移行していきたいと考えています。

問 地域移行した際の町の支援は

教育長 それぞれの部活動に検討した上で、活動そのものに対する支援や、保険加入の補助、指導者の報酬や、指導資格取得への補助、さらに、大会出場の際の送迎や、経費面の支援などが考えられます。

上十三まるごとネットへ

参加は

現場責任者の意見も聞きながら検討 — 町長

問 令和3年に、十和田市立中央病院と三沢市立三沢病院が共同で設立した、**※1**地域医療連携推進法人、**※2**上十三まるごとネットに、昨年は公立七戸病院が参加を表明し、令和

6年度には公立野辺地病院も参加の意向を表明した。当町の診療所の参加は

町長 当診療所においても共に取り組んでいきたいと考えていますが、町長として就任したばかり

※1 地域医療連携推進法人

地域における医療機関相互の機能分担や業務の連携を推進し、地域医療構想を達成することを目的とした法人。

※2 上十三まるごとネット

十和田市立中央病院と三沢市立三沢病院が共同で設立し、令和3年3月に青森県より認定を受けた県内初の地域医療連携推進法人。地域医療の課題に取り組む新しい法人組織。

3月 定例会で決まったこと

補正予算

◇一般会計9080万円
を減額

令和5年度一般会計予算では、9080万円を減額補正し、総額77億6194万円となりました。事業費等の確定や見込額の精査したことによる減額が主なものです。

- ・町地域間幹線系統確保維持費補助金 181万円
- ・ふるさと納税寄付謝礼 320万円
- ・七百中学校の生徒用机と椅子の購入経費など 63万円

質疑

路線への補助

種市正孝議員

地域間幹線系統確保維持補助金の内容は

企画財政課長

主要路線の十和田、八

戸間、十和田三沢間の路線を維持するため、沿線の市町村で乗合バス事業者に対して毎年補助を行っているものです。

移住支援

種市正孝議員

移住支援金の内容と減額理由は

企画財政課長

県と共同で実施している事業で、東京圏から青森県への移住を促進するために、最大100万円を支給する事業です。今回、該当者がいなかったため減額しています。

損害賠償を報告

令和5年9月12日、六戸町小松ヶ丘3丁目77番地1462付近で、町民バスが交差点内に進入した際、町民が運転する車と衝突し、双方の車両が破損し、運転していた相

手方が負傷した事故に関し、人身に關しての示談が成立し、約24万円の賠償をしたことの報告がありました。損害賠償の全額が全国自治協会自動車損害保険より支払われています。

条例改正

◇六戸町介護保険条例の一部を改正

介護保険法に基づき、令和6年度から令和8年度までの各年度の介護保険料率を定めるための改正です。

・第9期介護保険料基準額(月額) 6210円
第9期は1550円下がりました。



工事の請負契約

◇旧県立六戸高等学校校建物等解体工事

校舎建設に影響する樹木の伐採処分を追加し、樹木抜根によって発生した処分数量が設計より、約5倍となったことによる増額です。

契約先

丸井・佐藤特定建設工事共同企業体

金額

(変更前)

3億4320万円

(変更後)

3億4543万円

質疑

盛田嘉彦議員

今後も増額補正が重なり、最終的な総事業費が増えるのでは

教育課長

全国的に物資等の増額傾向は続いています。六戸学園の工事については、打合せ協議を細かく行い、今の事業費の規模で収めていきたいと考えています。

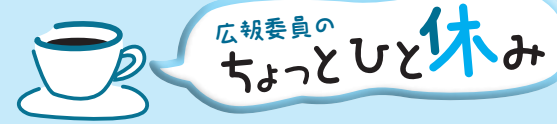
久しぶりの卒業式にて

4年ぶりに卒業式の案内が届きました。コロナ禍の影響で来賓の出席がかなわず、わが孫の姿を小学校と中学校で見ることが出来ず、それは非常に残念でありました。今年ようやく元の形になり、どのような式になるのか少しばかり気にかけて出席しました。

式も最後に近づき、全校生徒の式歌そして卒業記念合唱の時が感動の始まりでした。卒業生の弾きピアノ伴奏での「旅立ちの日に」を聴き終えた時は思わず大きな拍手を送っていました。そして、久しぶりの合唱に私の涙腺が止まりませんでした。

生徒たちの前途洋々たる未来が開かれていることを期待せずにいられない、そう思った一日でした。

広報委員 高坂 茂



卒業証書を授与される生徒(七百中学校卒業式)

審議した議案の 賛 否

第1回臨時会(開会2月7日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
報告	損害賠償の額の決定について(町民バスが自家用車と衝突し車両を損傷させた事故。損害賠償額97万円)	〇	報告	2月7日
条例	六戸町手数料条例の一部を改正する条例(戸籍法の一部改正に伴い、戸籍証明の広域交付等に係る手数料を定め、規定の整備を行う)	全賛成	可決	
令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第6号)(5548万円を増額補正)			

第2回定例会(開会3月1日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
報告	損害賠償の額の決定について(町民バスが自家用車と衝突し運転していた相手方が負傷した事故。損害賠償額24万円)	〇	報告	3月7日
条例	六戸町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例(法律の公布に伴い、マイナンバーの利用及び情報連携に係る規定の見直し)	全賛成	可決	
	六戸町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例(青森県の重度心身障害者医療費助成制度の取扱いに準じ、支給制限の所得判定に用いる配偶者の定義について改める)			
	六戸町介護保険条例の一部を改正する条例(令和6年度から令和8年度までの各年度の第1号被保険者の保険、介護保険料率を改正する)			
	六戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例(指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、指定居宅介護支援事業所ごとに置かなければならない介護支援専門員の人員に関する基準を見直すほか、所要の改正を行う)			
	六戸町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(指定居宅介護支援事業者が指定居宅予防支援の指定を受ける場合の人員に関する基準を定めるほか、所要の改正を行う)			
	六戸町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(管理者が兼務することができる事業所等の範囲を明確にし、身体的拘束等の適正化のための措置を義務づけるほか、所要の改正を行う)			
	六戸町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(管理者が兼務することができる事業所等の範囲を明確にし、身体的拘束等の適正化のための措置を義務づけるほか、所要の改正を行う)			
六戸町下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例(六戸町下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴い、関係条例の一部を改正するもので、関連する各基金条例の一部の改正を行う)				
令和5年度補正予算	一般会計補正予算(第7号)(9080万円を減額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(21万円を増額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第4号)(令和6年度の下水道事業会計で実施する事業において、令和5年度中に契約行為を行う必要があることから、債務負担行為を定めた)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(33万円を増額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(47万円を増額補正)			
令和6年度予算	一般会計予算(135億2100万円。前年度より56億4200万円増)			
	国民健康保険事業特別会計予算(12億8508万円。前年度より1762万円増)			
	介護保険事業特別会計予算(14億4590万円。前年度より1084万円増)			
	後期高齢者医療特別会計予算(1億6729万円。前年度より2259万円増)			
	国民健康保険診療事業特別会計予算(3億7089万円。前年度より2047万円減)			
	下水道事業会計予算(10億7029万円を計上。令和6年度より新たに地方公営企業法を適用した会計)			
工事の契約	工事の請負契約の変更について(旧県立六戸高等学校建物等解体工事、樹木の伐採処分と樹木抜根の処分金額の増)			
人事	人権擁護委員の候補者の推薦(小林一枝=小松ヶ丘、再任)	全賛成	適任同意	
	六戸町副町長の選任(円子富浩=南町二、新任)			
	六戸町監査委員の選任(吉田透=川原新田、再任)			

審議した議案の賛否

お米にまつわる

米の都道府県別生産量(2022年)…農水省より
 1位 新潟県 60万ト、2位 北海道 55万ト、3位 秋田県 45万ト、青森県は11位で23万ト。



キラリ
六戸人

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は町で起業し、
国際交流に力を入
れている川村真吾さん
です。

川村 真吾 さん

プロフィール：六戸小・中学校卒。父親の影響で小学2年生から始めた相撲で、小・中学校で成績を残し、三本木農業高校時代に全国高等学校相撲選手権大会で団体3位。拓殖大学を卒業後、地元に戻り消防士となるが、米軍基地の消防士に就きたいと考え退職し、英語を勉強しつつ地元六戸町で消防設備等の点検の会社、FCS防災を起業した。青森県内で国際交流を目的とした活動をしているFCSインターナショナルの代表。
高館出身。現在は南町(一)に在住。1987年生まれ。36歳。特技は英語。



防災意識を高めたい

消防士として13年間勤めました。現場では、災害や交通事故などで多くの亡くなる方を見ましたし、人の命の重さを消防人生で深く学ばせてもらいました。

その中で、普段から予防対策が分かれれば、もつと守られる命は増えると感じていました。

消防機関も住民の予防対策や防災の意識付けまで面倒を見られない部分があるのはわかるので、消防機関と住民の間に入りサポートする仕組みを創れば、住民の防災意識も高まるし、これから重要な役割になる。そう考え、消防設備等の点検の会社を起業しました。

青森県の魅力を

今から約13年前にALTの先生方と交流して英語に興味を持つようになりました。その中の一人

で、すごく良くしてくれたALTの先生が1年で帰って行ってしまいました。

理由を聞いたら「日本は好きだけど青森県はつまらない」と言われました。それで、「ねぶたには行ったの？温泉や青森の名物は食べたの？」と聞いたら、ほぼ何もしていませんでした。それです。つまらないと言われ、自分の地元が魅力がないと言われたように感じてショックでした。

自分は青森県に残っているのだから、他のALTの先生が帰るときに、

青森県に来てよかったと言わせた。そう思い、英語の勉強会と交流会を行うようになりました。

青森県内のイベントは日本人向けで、外国人向けの発信力が弱いので、私が日本語を英語に訳して、近隣の秋祭りやイベントに行こうよと声を掛け、徐々に仲間を増やしました。最初は4人でしたが、今は700人ぐらいの団体になっています。これからもっと青森県、そして地元六戸町をPRしていきたいですね。

聞き手 杉山 茂夫
盛田 嘉彦



りんご狩り体験の企画も立て、
県内ALTの方々と交流を深めた
(前列右から1番目)

編集後記

令和6年度の一般会計予算並びに、特別会計予算が決まり、佐藤新町長の町政がスタートしました。若さと行動力で、六戸町発展のため頑張ってください。期待しています。

今年度は六戸町立義務教育学校六戸学園の令和7年4月開校に向けての準備が着々と進むことと思っています。

また、私たち広報委員会の議会だよりが第38回町村議会広報全国コンクールで企画・構成部門で奨励賞を受賞しました。これからも、町民に愛読される広報誌を目指したいと思います。

広報委員 長根 一男

議会広報委員会
委員長 松橋 一男
副委員長 松村 英子
委員 盛田 嘉彦
長根 一男
杉山 茂夫
高坂 茂夫

発行責任者
議長 下田 敏美